



### 当院医師が表彰されました

当院内科の宮本武明医長は平成29年3月、路上において心肺停止状態に陥った傷病者に対して居合わせた方々と蘇生を行いました。その結果尊い命が救われました。これにより平成29年6月5日に吹田市北消防署において表彰を受けました。

市民病院を支え、がんばって働く職員を紹介します。

### 市民病院を支える —職員紹介—

第3回：放射線科 診療放射線技師  
筒井 保裕 技師 村松 侑希 技師



#### —どのような仕事ですか。

(村松技師) 放射線技師はCT・MRI・レントゲンなどの撮影・3D画像の加工や放射線治療の照射などが仕事です。



#### —なぜ市民病院に就職したのですか。

(筒井技師) 公立病院で患者さまのためにしっかり働きたいというのがありますが、来年度移転予定の新しい市民病院で働きたいという思いもあります。

#### —新しい市民病院に何を期待しますか。

(村松技師) 放射線科は新しい検査機器が入るので、今よりもより鮮明で治療に役立つ画像が提供できると思います。

—昨年度入職した若手職員2人にお話を聞きました。フレッシュさを残しつつ、放射線技師として経験をしっかり積み、新しい病院では中心となっていこうという意気込みを感じました。

## 高額療養費制度が変わりました

平成29年7月まで

平成29年8月から

適用区分	外来 (個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)	外来 (個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)
現役並み 課税所得 145万円以上の方	44,000円	80,100円 +(医療費-267,000円)×1% (多数回44,000円)	57,600円	80,100円 +(医療費-267,000円)×1% (多数回44,000円)
一般 課税所得 145万円未満の方	12,000円	44,000円	14,000円 (年間上限 144,000円)	57,600円 (多数回44,000円)

※住民税非課税世帯の方については、変更はありません

高額療養費制度は、家計に対する医療費の自己負担が過重なものとならないよう、医療費の自己負担に一定の歯止めを設ける仕組みです。

平成29年8月から、70歳以上の方の上限額が左の表のように変わりました。

詳しくは、ご加入の健康保険組合等の医療保険者までお問い合わせください

平素より市立吹田市民病院だよりをご愛読いただきありがとうございます。ご意見がございましたら市立吹田市民病院までご連絡ください。

# 吹田市民病院 だより No.64

〒564-0082 吹田市片山町2丁目13-20  
TEL (06) 6387-3311  
FAX (06) 6380-5825  
ホームページ  
http://www.city.suita.osaka.jp/hospital  
メールアドレス  
shomu@mhp.suita.osaka.jp

## 第8回 吹田市民病院 市民公開講座を開催しました。

7月15日(土)午後2時より岸部市民センターにて市民公開講座を開催しました。今回のテーマは「心血管病にならないための正しい知識と工夫」で、当院循環器内科の原田部長を中心に、8名の医師と医療従事者によるリレー講義を行いました。

講演では病気の基礎知識から治療法などを紹介しました。講演の間には「ワンポイントアドバイス」と題して、食事に含まれる糖質について、栄養士がユーモアを交えてお話をし、また理学療法士が簡単にできる予防運動などを紹介しました。猛暑日にも関わらず90名の市民の方に参加いただきました。



### <講演1> 「糖尿病と言われたら…」

内分泌・代謝内科 部長 火伏 俊之

糖尿病人口は予備群を含めると2,050万人にもなります。これは食生活や生活習慣の変化や高齢化が原因です。糖尿病は体内のインスリンが十分に作用しないために起こる病気です。この糖尿病になると全身の血管に障害が来ます。血管が傷つき、そこにコレステロールが蓄積します。これが心筋梗塞や脳卒中の原因です。

肥満・糖尿病になったら、一番大切なことはやせること。(血糖をあげないために) 食事で糖質の摂取を減らすこと、それに運動することが何より大切なことです。



### <講演2> 「心筋梗塞について」

循環器内科 医師 田中 克弥



心筋梗塞は約半数が亡くなる怖い病気です。これを防ぐためにはタバコ・運動習慣・肥満などの日常生活を見直すことが非常に重要です。

- ①胸の痛み ②冷や汗 ③息苦しい
- など、このような症状を認めた場合はすぐに受診をお願いします。

### <講演3> 「心不全について」

循環器内科 医師 革島 真奈

心不全とは心臓の機能が何らかの理由で低下するため、全身に血液がたまってしまいう状態のことです。歩いたときの息切れがひどくなる、足がむくむ、咳がでる、体重が1週間で大幅に増えたなどは心不全の特徴的な症状です。心不全は早めの対処が大切です。気になる症状がありましたら早めに医療機関を受診し、相談してください。



### <講演4> 「足の動脈硬化について」

循環器内科 医長 西山 浩彦

足の動脈硬化(末梢動脈疾患)になると、血管が詰まって必要な量の血液が足にいきわたらなくなります。坂道・階段を歩くときに足が重い方や、手足の冷えが辛い、足がよくつる(こむら返り)方は末梢動脈疾患が疑われます。こういう場合は下肢のみならず全身の動脈硬化が進行しています。早めに足の動脈硬化が見つければ、心筋梗塞・脳梗塞の予防ができます。早期発見が重要です。



### 心血管病チェックリスト

- 70歳以上の女性、あるいは60歳以上の男性である。
- 脂質異常症であり、現在喫煙中である。
- 脂質異常症であり、高血圧症であり、糖尿病でもある。
- 労作事に胸部圧迫感、息切れ、左あご～左肩の凝りなどの症状がある。
- 労作事に下肢の運びが悪くなる(重く、だるくて歩けなくなる)。

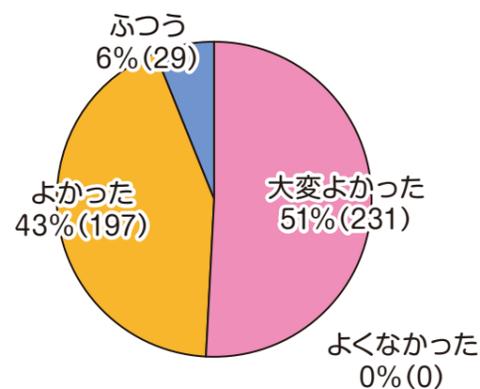
\*2つ以上当てはまる方は、かかりつけ医や循環器内科でのメディカルチェックをお勧めします。

### 市民公開講座アンケート

#### 1. 参加していただいた方からの声

- ・ゆっくりと静かで、高齢者にもよく理解できた。
- ・食事のこと、運動のこと、努力しなくてはいけないことがたくさんあると思った。
- ・何となくでしか心筋梗塞については知らなかったが、よく解かった。

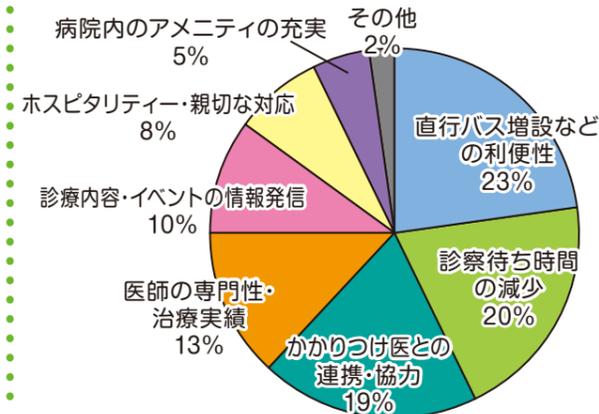
#### 2. 今回の市民公開講座はいかがでしたか。



#### 3. 今後、市民講座等で取り上げてほしいテーマは何ですか。

- ・医療制度や介護に関わる情報 34
- ・生活習慣病について 27
- ・がんの治療や予防について 27
- ・新病院の情報 27
- ・整形外科疾患について 23
- ・その他 3

#### 4. 吹田市民病院に求めるもの



### 院内コンサートを開催しました

7月6日(木)に当院の1階ホールにて院内コンサートを開催しました。最初に、辻文生内科部長の、ぜひ癒されて頂きたい、との挨拶で演奏会が始まりました。

箏 橋本桂子さん、バイオリン 宮田晴奈さんを迎えての演奏会は、曲目がなじみのあるポピュラーなものからクラシックの名曲まで幅広く演奏して頂きました。その後、病棟の談話室でも演奏を行いました。

会場には患者さまや市民の方にご来場いただき、大盛況のうちに終わりました。



### ☆ 出張講座を行いました ☆

平成29年6月14日(水)吹田市立市民公益活動センター(ラコルタ)にて、当院の神経内科の中野美佐部長が「認知症の診断と予防について」という演題で講演を行いました。

認知症には症状が改善するものもあり、また新しい薬も出ており、早めに受診することが大切です、という内容でした。また、簡単な認知症テストなども行い、ぜひこのような講座を開催してほしい、という意見をいただき、盛況のうちに終わりました。



※地域のグループ、高齢クラブ等の希望に応じて出張講座を行っております。お気軽に病院総務室までご相談下さい。

### 新病院情報



市立吹田市民病院は現在の吹田市片山町から平成30年度秋にJR岸辺駅前にできる「北大阪健康医療都市(愛称:健都)」に移転します。

現在は病院本体(地上8階建て)の3階部分の躯体工事を進めています。今後も新病院の建築状況をお知らせいたします。

